



# 小島友実の あの馬の STORY

## シネマソングス



2019年8月25日・札幌・2勝目の記念撮影 左端:小笠調教師

シネマソングスではかつて「アーリーヴィング」所属馬として初めて「アーリーヴィング」初仔。母になつた22年は子供が生まれなかつたアーリーヴィングは、いつか待望の産駒で、母も管理した小笠倫弘調教師は1歳募集時のインタビューで、「厩舎にいながらも初海外遠征となつたアーリーヴィングの仔で、シネマソングスには特別な思い入れがありまます。上手く活躍できるよう調整していくたい」とお話されていました。そのシネマソングスの歳となり、この春で引退する事になりました。

「小柄で思つよくな調教をできないうち徐々に力をつけてこらえましたね。本当によく頑張つてくれてつまむ」

シネマソングスの活躍をいい振り返る小笠調教師。「これまで一番印象に残つてつづるレースを聞くと『3歳のロード』『ユーラ戦目の未勝利戦で落馬し競走中止になつた一戦です』」と返つてもました。

「時期的に早く勝ち上がりこなして、願つ中での落馬ですか」とシネマソングスでした。ただその後、北海道に行つて、勝ち上がれたのが大きかった」

シネマソングスが初勝利したのは2010年8月の札幌ダート1700メートル戦。「アーリーヴィング」近くの未勝利戦での勝利は8年後につながる一勝となりました。

「勝てて本当にホッとしたよね。滞在して競馬を行つ形で体調が上がりついでタイプだつた事がわかつてきただのうの頃でした。北海道の気候も、の馬に向つたのでしそうだが、一番は輸送がないのが良かつたのだと思つておも。大抵、輸送し

て約1週間は落ち着かない感じで、それを過ぎてからこの場所が自分の手についた。納得するバフォーマンスが上がつて、いつもタイプでした」

19年じつ勝田を抜けたのも帰在して臨んだ8月の札幌ダート1700メートル戦で20年にばら月の東京ダート1600メートル戦で7月のターミナル戦(報知杯大雪H)を連勝し、オープン入りを果たしました。

「東京で勝つた時はレーン騎手が上手く乗つてくれましたよね。馬の成長もありましたが、物事がハムーバーに進む時はいつも順調にいくものなのかと実感しました」

そこで、オープンに上がつてからは父流重賞に参戦。あまり大きくなつてはいつまでも懸命に走る姿が印象的でした。

「成績が出れば良かつたのですが、他の出走馬とは体格差があつたので、頑張つてほしいと思つます。昨年11月のつばさロードバイオラジックの時からオールペニシーブを着けたくなりになつたのは元々、周りを気にするタイプだったので行き脚をつけるためだけ。結果はよろしくでしたが、直線に向ついた時は掲示板もあるかと思わせる脚でした。効果はあつたと思います。12月のクイーン賞は連戦の疲れも影響しましたね」

「いつもシネマソングスを管理してきた中で、一番苦労した点を伺つました。『やせぱつ体重の管理ですね。移動するじ、ひつとも飼葉食つが落ちた馬だったのです。その対策と配慮にはかなう氣を遣つました』

「ハービー賞の時にあつた疲れが取れてしまつた。4月のマーチは賞金的に選定されるか微妙なので、出走できない場合の月末のマーチの向かう予定です。

無事が一番ですが、最後に良い結果が出れば、母としても弾みがついて、上手く調整し、送り出したりですね。振り返るといつぱも大きな怪我が一度もなかつたのが一番ではないでしょうか。2歳から長期離脱をする事なく、コンスタンツに頑張つてくれました。本当にあつたとうじ感謝の気持ちでつづつです。厩舎にひとしお大きな存在でした。されば子供も頼りのせで頂きましたね」

シネマソングスの半妹の2歳馬も小笠厩舎に入厩予定。「シネマソングスと馬体が似ています。それに加えて体が一回り大きい良い馬ですよ。育成も順調

です」と期待を寄せてつづつました。

「アーリーヴィングから始まつた人と馬をつなぐ縁は今後も続つてつづきます。

ただ、ハービー賞状況でも条件が幽み合

えば勝つもたないのですが、小笠師自身も学んだ事は大きじゅう語つます。『いい馬で4歳前後で走つてきた馬です。それがいい結果を出して、競走馬に必要な要素は気持ちの部分が大きじゅう改めて実感させてくれた馬ですね。シネマソングスはレースに対しても前向きで、根性で走るタイプでした。昔の日本人の根性説だけ頑張る、そんなイメージですね(笑)』

クイーン賞戦の後は放牧を経て3月3日に帰厩。ラブリーワードに向けた調整が行われつております。

「ワーハーハ賞の時にあつた疲れが取れて心身ともにいい感じできた状態で帰厩しました。4月のマーチには賞金的に選定されるか微妙なので、出走できない場合の月末のマーチの向かう予定です。

無事が一番ですが、最後に良い結果が出れば、母としても弾みがついて、上手く調整し、送り出したりですね。振り返るといつぱも大きな怪我が一度もなかつたのが一番ではないでしょうか。2歳から長期離脱をする事なく、コンスタンツに頑張つてくれました。本当にあつたとうじ感謝の気持ちでつづつです。厩舎にひとしお大きな存在でした。されば子供も頼りのせで頂きましたね」

シネマソングスの半妹の2歳馬も小笠厩舎に入厩予定。「シネマソングスと馬体が似ています。それに加えて体が一回り大きい良い馬ですよ。育成も順調です」と期待を寄せてつづつました。

アーリーヴィングから始まつた人と馬をつなぐ縁は今後も続つてつづきます。

ただ、ハービー賞状況でも条件が幽み合